

令和7年度
在宅医療県民意識調査
実施報告書

令和8年2月
一般社団法人 長野県医師会

■アンケート調査の概要

▶ 調査実施

▶ 調査実施日

▶ 令和8年(2026年) 2月4日(水)～9日(月)

▶ 調査対象

▶ 長野県内在住30歳～60歳以上

▶ 実施方法

▶ ネットアンケート

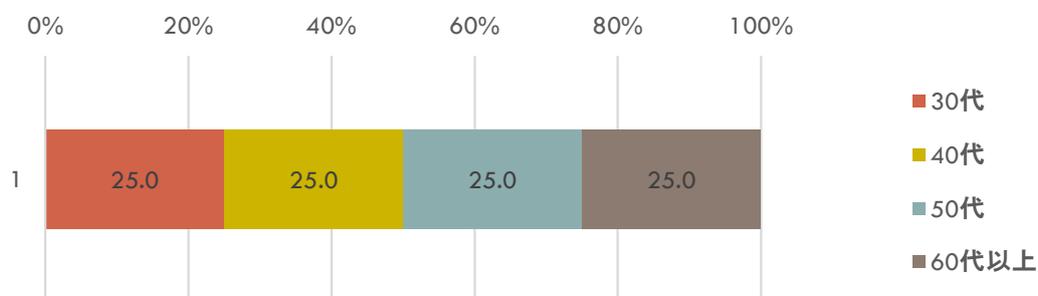
▶ 楽天インサートのアンケートシステム利用

▶ 回答者数

▶ 長野県内在住者 1,000人

▶ 基礎データ

▶ 年代比率



▶ 性別年代比率



※年代比率および性別年代比率について、70代、80代のネット利用者が少ないことから、調査客体を確保するため、60代以上として調査を実施。

アンケート実施画面1

テーマ「人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）について」

「人生会議」とは、アドバンス・ケア・プランニングの愛称です。
もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取り組みのことです。

Q1
必須

あなたは「人生会議」という言葉をどんなメディアで知りましたか。

- 1. 県や市町村の広報（誌）
- 2. テレビ・ラジオ
- 3. ポスター・パンフレット
- 4. インターネット
- 5. 聞いたことがなかった（いま、ここで知った）
- 6. その他

次へ

Q1で「知っている」項目に答えた人への設問

Q2
必須

人生会議について、どのくらいご存知ですか？

- 1. 言葉だけ知っている
- 2. 言葉とだいたいの内容を知っている
- 3. 詳しい内容まで知っている

次へ

Q3
必須

あなたは、最期の医療・ケア（延命治療など）が必要になった場合、どこで治療したいですか。
（いくつでも）

- 1. 自宅
- 2. 病院などの医療機関
- 3. 特別養護老人ホームなどの介護施設
- 4. 考えたくない(排他)
- 5. その他

次へ

アンケート実施画面2

■人生会議では、ご自身の健康や病状について、かかりつけ医等に相談して、正確な情報を知ることが大切です。

Q4

必須

あなたは、ご自身の健康や病状について、かかりつけ医から説明を受けていますか。

- 1. 説明を受けている
- 2. 説明を受けていない
- 3. かかりつけ医がない

次へ

Q5

必須

人生会議では、あなたの希望や思いについて、ご家族やご友人だけでなく、医療ケアチームとも繰り返し話し合うことが大切になります。

あなたは、ご自身が望む医療・ケアについて、あなたの信頼する人（ご家族や親族など）と話し合い（人生会議）をしていますか。

- 1. している
- 2. していない

次へ

Q5で「話し合いをしている」と答えた人への設問

Q5-1

必須

どなたと話し合いをされていますか。
(いくつでも)

- 1. ご家族✳
- 2. 親族✳
- 3. ご友人✳
- 4. かかりつけ医✳
- 5. かかりつけ医以外の医療介護職✳
- 6. その他✳

次へ

アンケート実施画面3

Q5で「話し合いをしている」と答えた人への設問

Q5-2 どのようなことを話し合われていますか。
必須 (いくつでも)

- 1. 延命治療（人工呼吸器設置や胃ろうの増設）を実施するかどうか
- 2. 在宅での急変時に救急要請を行うかどうか
- 3. 在宅でかかりつけ医による看取りを希望するかどうか
- 4. 介護・ケアを誰にお願いするか
- 5. その他

次へ

Q5で「話し合いをしている」と答えた人への設問

Q5-3 人生会議では、あなたが意思表示出来なくなった場合に備えて、あなたに代わり意思表示をして
必須 くれる代理人を選ぶことが大切になります。
あなたは、ご自身が意思表示出来なくなった場合に備えて、代理人を決めていますか。

- 1. 代理人を決めている
- 2. 代理人を決めていない

次へ

Q5で「話し合いをしている」と答えた人への設問

Q5-4 人生会議で話し合った内容を書面に残していますか？
必須

- 1. 残している
- 2. 残していない

次へ

Q5で「話し合いをしていない」と答えた人への設問

Q6 話し合いをされていない理由は何ですか。
必須

- 1. 関心がない、話し合う必要がない
- 2. まだ話し合う時期ではない（健康である、年齢が若いなど）
- 3. 話し合いをしたいが、話をする人がいない
- 4. 縁起ではないと思う、または縁起ではないと言われるため話題にしにくい
- 5. その他

次へ

アンケート実施画面4

Q7 必須 人生会議で話し合ったことは、その後、本人の気持ちや環境の変化によって、その内容を変更することができます。
人生会議は一度だけではなく、何度でも行なって考え直せることをご存知でしたか？

- 1. はい
- 2. いいえ

次へ

Q8 必須 今後、人生会議についてのシンポジウムが近くで開催された場合、参加したいと思いますか。

- 1. 思う
- 2. 思わない
- 3. どちらとも言えない

次へ

Q9 必須 もし、人生会議をするなら、またはすでにした場合、あなたにとって大切なテーマはなんですか。
(いくつでも)

- 1. 家族の生活面の負担
- 2. 経済面の負担
- 3. 医療とケア面のサポート体制
- 4. 自分の自由な時間の過ごし方
- 5. 家族や友人との時間の過ごし方
- 6. 延命治療についての対応
- 7. その他

次へ

アンケートにご回答いただき、ありがとうございました。

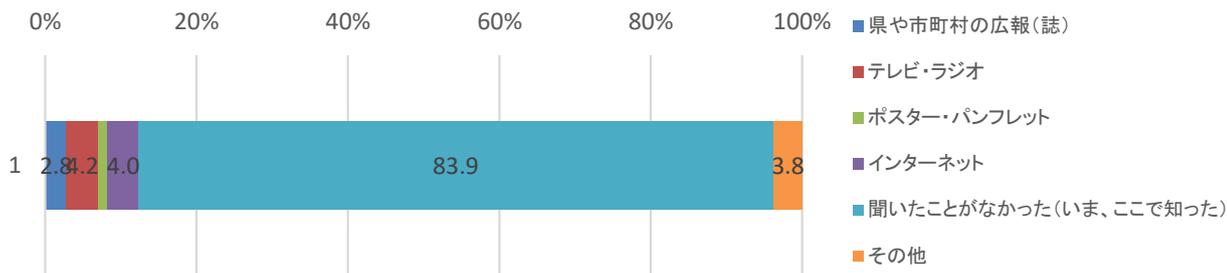
【あなたご自身に関するアンケート】の獲得ポイント

〇〇ポイント

閉じる

■アンケート結果および考察

▶ Q1.あなたは「人生会議」という言葉をどんなメディアで知りましたか。



		n	県や市町村の広報(誌)	テレビ・ラジオ	ポスター・パンフレット	インターネット	聞いたことがなかった(いま、ここで知った)	その他
全体		1000	2.8	4.2	1.3	4.0	83.9	3.8
性別	男性	500	1.6	2.2	4	2.6	42.2	1.0
	女性	500	1.2	2.0	9	1.4	41.7	2.8
年代	30代	250	1.3	1.6	7	1.5	19.0	9
	40代	250	7	1.3	3	7	20.7	1.3
	50代	250	4	6	1	10	21.8	1.1
	60代以上	250	4	7	2	8	22.4	5
割付	<男性> 30代	125	7	8	3	12	9.5	0
	<男性> 40代	125	5	6	1	3	10.4	6
	<男性> 50代	125	2	4	0	6	11.1	2
	<男性> 60代以上	125	2	4	0	5	11.2	2
	<女性> 30代	125	6	8	4	3	9.5	9
	<女性> 40代	125	2	7	2	4	10.3	7
	<女性> 50代	125	2	2	1	4	10.7	9
	<女性> 60代以上	125	2	3	2	3	11.2	3

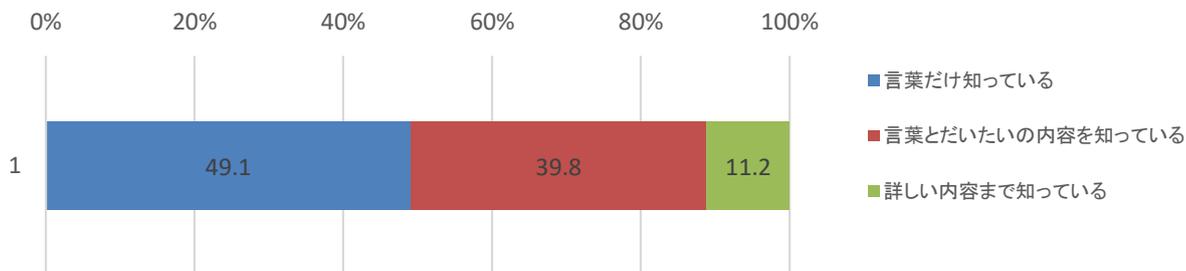
* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

* グレー表記はベースがn=29以下のため参考値

【考察】

人生会議(アドバンスケアプランニング)という言葉を知らなかったのは839人。逆に知っていたのは161人。調査開始以来、最大の認知度である(19p参照)。年代別では30代の認知度が高く、60代以上が最も低い結果となった。メディア別では、電波媒体とネット媒体がほぼ同じ。ポスターやパンフレットが最も少ない。行政の広報も健闘しているが、母数が少ないため、大きな差は認められない。

▶ Q2.人生会議について、どのくらいご存知ですか？



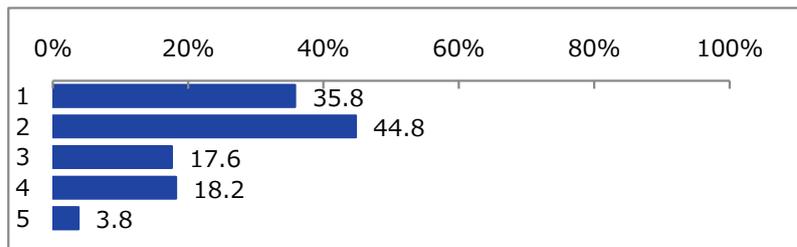
		n	言葉だけ知っている	言葉を知らずとも大いたいの内容	詳しい内容まで知っている
全体		161 100.0	79 49.1	64 39.8	18 11.2
性別	男性	78 100.0	38 48.7	34 43.6	6 7.7
	女性	83 100.0	41 49.4	30 36.1	12 14.5
年代	30代	60 100.0	26 43.3	26 43.3	8 13.3
	40代	43 100.0	25 58.1	12 27.9	6 14.0
	50代	32 100.0	13 40.6	15 46.9	4 12.5
	60代以上	26 100.0	15 57.7	11 42.3	0 0.0
割付	<男性> 30代	30 100.0	13 43.3	16 53.3	1 3.3
	<男性> 40代	21 100.0	11 52.4	5 23.8	5 23.8
	<男性> 50代	14 100.0	6 42.9	8 57.1	0 0.0
	<男性> 60代以上	13 100.0	8 61.5	5 38.5	0 0.0
	<女性> 30代	30 100.0	13 43.3	10 33.3	7 23.3
	<女性> 40代	22 100.0	14 63.6	7 31.8	1 4.5
	<女性> 50代	18 100.0	7 38.9	7 38.9	4 22.2
	<女性> 60代以上	13 100.0	7 53.8	6 46.2	0 0.0

【考察】

本設問はメディアを通して、「人生会議」を知っていると答えた161人に対して、その理解度を精査したものである。その結果「言葉だけ知っている」が79人。内容についてある程度理解しているのは、82人。年代別に見ると30代がある程度の内容を把握しており、関心の高さがうかがえる。

▶ Q3.あなたは、最期の医療・ケア(延命治療など)が必要になった場合、どこで治療したいですか。(いくつでも)

	%
全体	1000
自宅	35.8
病院などの医療機関	44.8
特別養護老人ホームなどの介護施設	17.6
考えたくない	18.2
その他	3.8



		n	自宅	病院などの医療機関	特別養護老人ホームなどの介護施設	考えたくない	その他
全体		1000	358	448	176	182	38
		100.0	35.8	44.8	17.6	18.2	3.8
性別	男性	500	192	220	73	94	18
		100.0	38.4	44.0	14.6	18.8	3.6
性別	女性	500	166	228	103	88	20
		100.0	33.2	45.6	20.6	17.6	4.0
年代	30代	250	93	100	54	61	4
		100.0	37.2	40.0	21.6	24.4	1.6
	40代	250	103	108	42	41	14
		100.0	41.2	43.2	16.8	16.4	5.6
年代	50代	250	93	122	42	34	9
		100.0	37.2	48.8	16.8	13.6	3.6
	60代以上	250	69	118	38	46	11
		100.0	27.6	47.2	15.2	18.4	4.4
割付	<男性> 30代	125	49	47	20	30	0
		100.0	39.2	37.6	16.0	24.0	0.0
	<男性> 40代	125	52	50	17	26	8
		100.0	41.6	40.0	13.6	20.8	6.4
	<男性> 50代	125	54	58	19	16	5
		100.0	43.2	46.4	15.2	12.8	4.0
	<男性> 60代以上	125	37	65	17	22	5
		100.0	29.6	52.0	13.6	17.6	4.0
割付	<女性> 30代	125	44	53	34	31	4
		100.0	35.2	42.4	27.2	24.8	3.2
	<女性> 40代	125	51	58	25	15	6
		100.0	40.8	46.4	20.0	12.0	4.8
	<女性> 50代	125	39	64	23	18	4
		100.0	31.2	51.2	18.4	14.4	3.2
	<女性> 60代以上	125	32	53	21	24	6
		100.0	25.6	42.4	16.8	19.2	4.8

【考察】

昨年同様に最期を迎える場所についての設問。自宅(35.8%)よりも医療機関や介護施設など(62.4%)を望む声が増えた。昨年23.1%、一昨年20.9%とわずかではあるが徐々に施設を望む声が増えている。性年代別では、男女とも40代に「自宅」を望む声が多く、60代男性、60代女性と、高齢になるほど「医療機関」を望んでいる。「考えたくない」は先のこととして30代が多いのは想定内である。

▶ Q4.あなたは、ご自身の健康や病状について、
かかりつけ医から説明を受けていますか。

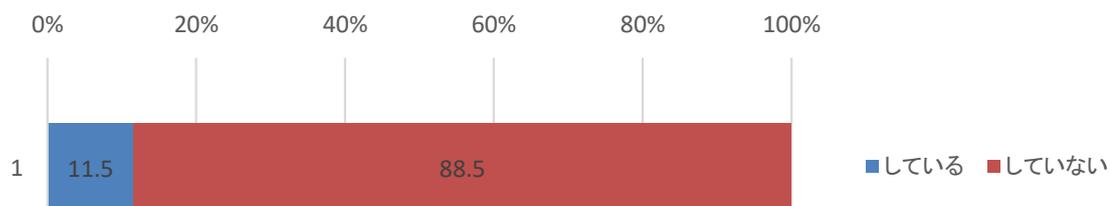


		n	説明を受けている	説明を受けていない	かかりつけ医がない
全体		1000 100.0	314 31.4	214 21.4	472 47.2
性別	男性	500 100.0	162 32.4	115 23.0	223 44.6
	女性	500 100.0	152 30.4	99 19.8	249 49.8
年代	30代	250 100.0	50 20.0	57 22.8	143 57.2
	40代	250 100.0	61 24.4	47 18.8	142 56.8
	50代	250 100.0	91 36.4	51 20.4	108 43.2
	60代以上	250 100.0	112 44.8	59 23.6	79 31.6
割付	<男性> 30代	125 100.0	25 20.0	31 24.8	69 55.2
	<男性> 40代	125 100.0	26 20.8	26 20.8	73 58.4
	<男性> 50代	125 100.0	49 39.2	25 20.0	51 40.8
	<男性> 60代以上	125 100.0	62 49.6	33 26.4	30 24.0
	<女性> 30代	125 100.0	25 20.0	26 20.8	74 59.2
	<女性> 40代	125 100.0	35 28.0	21 16.8	69 55.2
	<女性> 50代	125 100.0	42 33.6	26 20.8	57 45.6
	<女性> 60代以上	125 100.0	50 40.0	26 20.8	49 39.2

【考察】

かかりつけ医が「いない人47.2%」と「いる人52.8%」。年代別に見ると、男女ともに年代が上がるにつれて、かかりつけ医を「持っている」率が高くなる。男性60代に「説明を受けていない」人が多いのは特徴的である。

- ▶ Q5.人生会議では、あなたの希望や思いについて、ご家族やご友人だけでなく、医療ケアチームとも繰り返し話し合うことが大切になります。
あなたは、ご自身が望む医療・ケアについて、あなたの信頼する人(ご家族や親族など)と話し合い(人生会議)をしていますか。



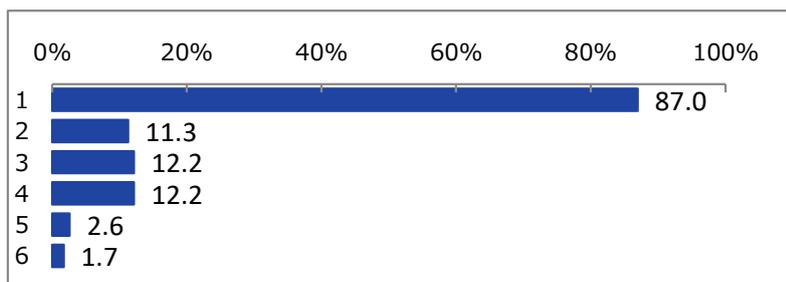
		n	している	していない
全体		1000	115	885
		100.0	11.5	88.5
性別	男性	500	47	453
		100.0	9.4	90.6
	女性	500	68	432
		100.0	13.6	86.4
年代	30代	250	25	225
		100.0	10.0	90.0
	40代	250	27	223
		100.0	10.8	89.2
	50代	250	26	224
		100.0	10.4	89.6
	60代以上	250	37	213
		100.0	14.8	85.2
割付	<男性> 30代	125	12	113
		100.0	9.6	90.4
	<男性> 40代	125	10	115
		100.0	8.0	92.0
	<男性> 50代	125	11	114
		100.0	8.8	91.2
	<男性> 60代以上	125	14	111
		100.0	11.2	88.8
	<女性> 30代	125	13	112
		100.0	10.4	89.6
	<女性> 40代	125	17	108
		100.0	13.6	86.4
	<女性> 50代	125	15	110
		100.0	12.0	88.0
	<女性> 60代以上	125	23	102
		100.0	18.4	81.6

【考 察】

「人生会議をしている」回答者は、115人と昨年(113人)同等である。経年変化ではやや減少傾向にある(19p参照)。年代別では60代以上が一番多い。なかでも特に60代女性の多さが際立っている。

▶ Q5-1.どなたと話し合いをされていますか。(いくつでも)

	%
全体	115
ご家族	87.0
親族	11.3
ご友人	12.2
かかりつけ医	12.2
かかりつけ医以外の医療介護職	2.6
その他	1.7



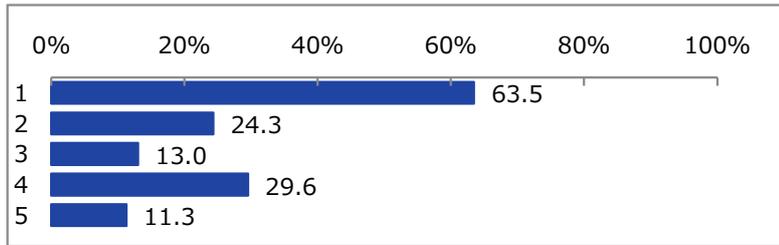
		n	ご家族	親族	ご友人	かかりつけ医	療 療 介 介 護 護 職 職	か か り り つ っ け け 医 医 以 以 外 外 の の 医 医	そ の 他
全体		115 100.0	100 87.0	13 11.3	14 12.2	14 12.2	3 2.6	2 1.7	
性別	男性	47 100.0	39 83.0	10 21.3	8 17.0	10 21.3	0 0.0	0 0.0	
	女性	68 100.0	61 89.7	3 4.4	6 8.8	4 5.9	3 4.4	2 2.9	
年代	30代	25 100.0	18 72.0	6 24.0	9 36.0	5 20.0	1 4.0	0 0.0	
	40代	27 100.0	24 88.9	3 11.1	3 11.1	5 18.5	1 3.7	1 3.7	
	50代	26 100.0	24 92.3	2 7.7	0 0.0	2 7.7	0 0.0	1 3.8	
	60代以上	37 100.0	34 91.9	2 5.4	2 5.4	2 5.4	1 2.7	0 0.0	
割付	<男性> 30代	12 100.0	8 66.7	5 41.7	6 50.0	3 25.0	0 0.0	0 0.0	
	<男性> 40代	10 100.0	8 80.0	2 20.0	2 20.0	3 30.0	0 0.0	0 0.0	
	<男性> 50代	11 100.0	10 90.9	2 18.2	0 0.0	2 18.2	0 0.0	0 0.0	
	<男性> 60代以上	14 100.0	13 92.9	1 7.1	0 0.0	2 14.3	0 0.0	0 0.0	
	<女性> 30代	13 100.0	10 76.9	1 7.7	3 23.1	2 15.4	1 7.7	0 0.0	
	<女性> 40代	17 100.0	16 94.1	1 5.9	1 5.9	2 11.8	1 5.9	1 5.9	
	<女性> 50代	15 100.0	14 93.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.7	
	<女性> 60代以上	23 100.0	21 91.3	1 4.3	2 8.7	0 0.0	1 4.3	0 0.0	

【考 察】

「話し合い(人生会議)をしている」115人が対象。話し相手としては「ご家族」が87%と大多数を占めるのは、例年同様の結果である。複数回答で「親族」「友人」「かかりつけ医」は横並びの結果となった。

▶ Q5-2.どのようなことを話し合われていますか。(いくつでも)

	%
全体	115
延命治療（人工呼吸器設置や胃ろうの増設）を実施するかどうか	63.5
在宅での急変時に救急要請を行うかどうか	24.3
在宅でかかりつけ医による看取りを希望するかどうか	13.0
介護・ケアを誰にお願いするか	29.6
その他	11.3

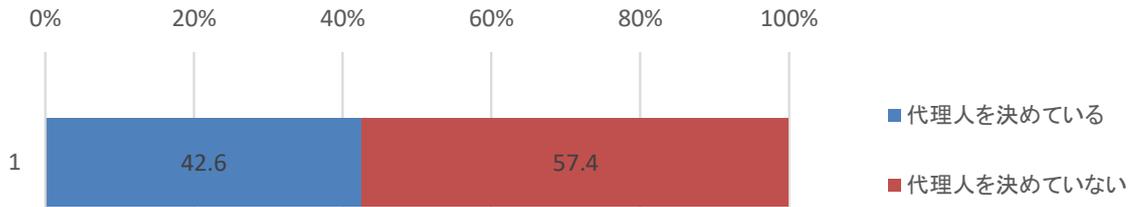


		n	を 実 施 す か う ど う か	延 命 治 療 （ 人 工 呼 吸 器 設 置 ）	要 請 を 行 う か う ど う か	か か り つ け 医 の 看 取 り 希 望 す る か	在 宅 で の 急 変 時 に 救 急 要 請 を 行 う か う ど う か	介 護 ・ ケ ア を 誰 に お 願 い す る か	そ の 他
全体		115 100.0	73 63.5	28 24.3	15 13.0	34 29.6	13 11.3		
性別	男性	47 100.0	24 51.1	18 38.3	7 14.9	15 31.9	7 14.9		
	女性	68 100.0	49 72.1	10 14.7	8 11.8	19 27.9	6 8.8		
年代	30代	25 100.0	9 36.0	7 28.0	3 12.0	6 24.0	5 20.0		
	40代	27 100.0	17 63.0	8 29.6	7 25.9	12 44.4	3 11.1		
	50代	26 100.0	19 73.1	6 23.1	1 3.8	9 34.6	2 7.7		
	60代以上	37 100.0	28 75.7	7 18.9	4 10.8	7 18.9	3 8.1		
割付	<男性> 30代	12 100.0	4 33.3	5 41.7	1 8.3	3 25.0	2 16.7		
	<男性> 40代	10 100.0	5 50.0	4 40.0	4 40.0	3 30.0	2 20.0		
	<男性> 50代	11 100.0	7 63.6	5 45.5	1 9.1	5 45.5	1 9.1		
	<男性> 60代以上	14 100.0	8 57.1	4 28.6	1 7.1	4 28.6	2 14.3		
	<女性> 30代	13 100.0	5 38.5	2 15.4	2 15.4	3 23.1	3 23.1		
	<女性> 40代	17 100.0	12 70.6	4 23.5	3 17.6	9 52.9	1 5.9		
	<女性> 50代	15 100.0	12 80.0	1 6.7	0 0.0	4 26.7	1 6.7		
	<女性> 60代以上	23 100.0	20 87.0	3 13.0	3 13.0	3 13.0	1 4.3		

【考察】

話し合いの内容としては、「延命治療」についてが最も多く63.5%。60代以上がいちばん多いのは想定内である。次いで「介護ケアを誰にお願いするか」29.6%「救急要請」24.3%、「かかりつけ医の看取り希望」が13%と続くが、この順位は例年同じである。

- ▶ Q5-3.人生会議では、あなたが意思表示出来なくなった場合に備えて、あなたに代わり意思表示をしてくれる代理人を選ぶことが大切になります。あなたは、ご自身が意思表示出来なくなった場合に備えて、代理人を決めていますか。

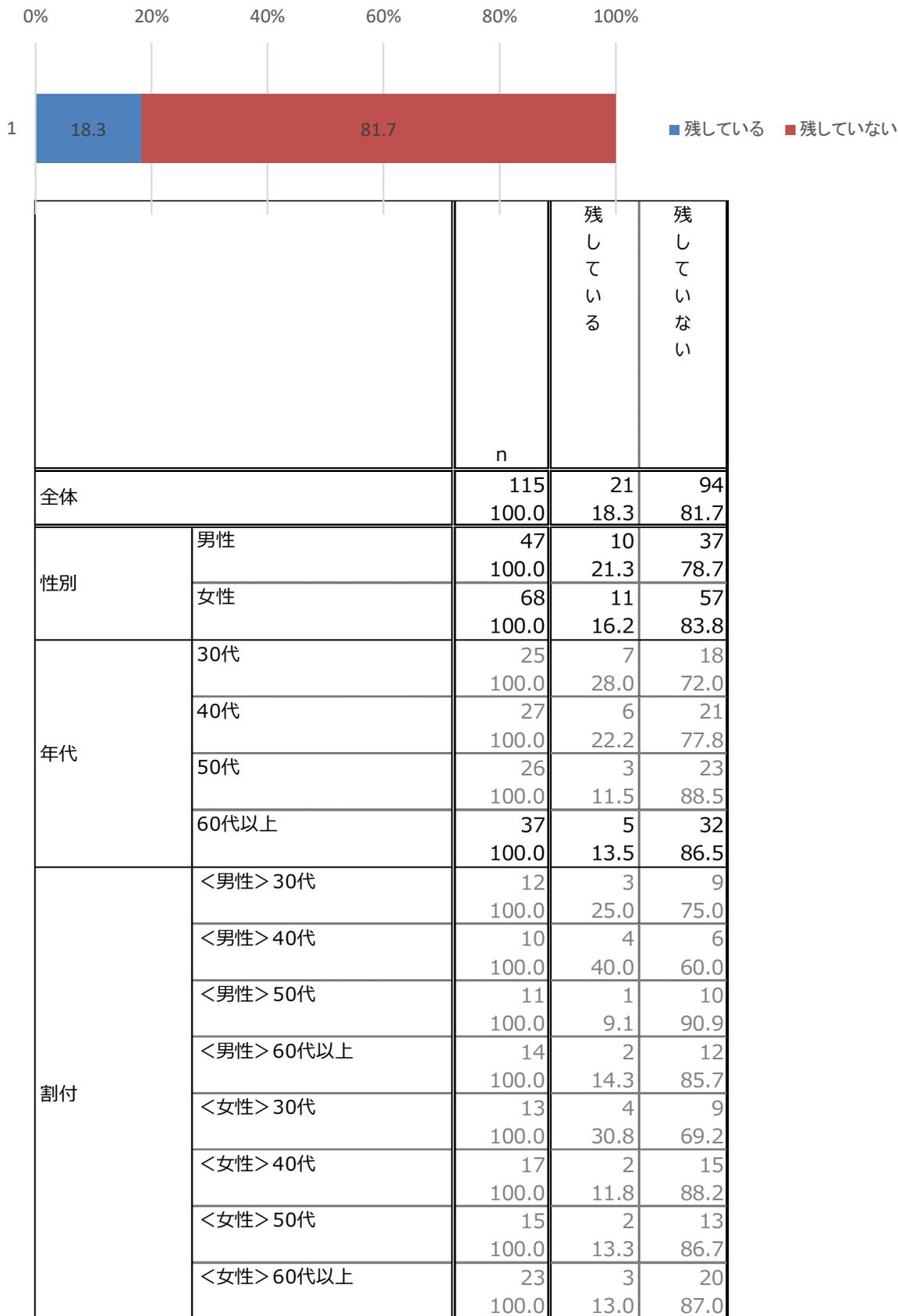


		n	代理人を決めている	代理人を決めていない
全体		115 100.0	49 42.6	66 57.4
性別	男性	47 100.0	22 46.8	25 53.2
	女性	68 100.0	27 39.7	41 60.3
年代	30代	25 100.0	10 40.0	15 60.0
	40代	27 100.0	8 29.6	19 70.4
	50代	26 100.0	13 50.0	13 50.0
	60代以上	37 100.0	18 48.6	19 51.4
割付	<男性> 30代	12 100.0	4 33.3	8 66.7
	<男性> 40代	10 100.0	4 40.0	6 60.0
	<男性> 50代	11 100.0	6 54.5	5 45.5
	<男性> 60代以上	14 100.0	8 57.1	6 42.9
	<女性> 30代	13 100.0	6 46.2	7 53.8
	<女性> 40代	17 100.0	4 23.5	13 76.5
	<女性> 50代	15 100.0	7 46.7	8 53.3
	<女性> 60代以上	23 100.0	10 43.5	13 56.5

【考察】

「代理人を決めていない」が57.4%。特徴的なのは、30代の25人中10人が代理人を決めていると回答したことである。これは昨年も同様の数値が出ており、意外である。全体としては、人生会議をすでに行っている115人への設問であり、あえて代理人を決める必要性を感じていないのではないかと推測できる。

▶ Q5-4.人生会議で話し合った内容を書面に残していますか？



【考察】

書面で「残している」は18.3%。「残していない」は81.7%。前年と近似値の結果である。総数との比率ではわずかに2.1%が「書面として残している」という結果であり、この比率も前年(2.2%)と近似値である。

▶ Q6.話し合いをされていない理由はなんですか。

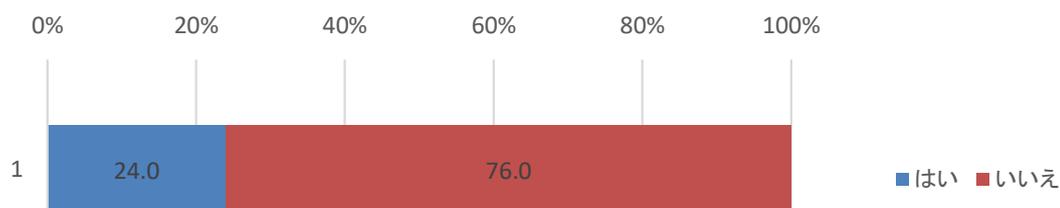


		n	関心がない、話し合う必要がない	まだ話し合う時期ではない(健康である、年齢が若いなど)	話し合をしたいが、話をする人がいない	縁起ではないと思う、または縁起ではないと言われるため話題にしにくい	その他
全体		885	96	470	93	112	114
		100.0	10.8	53.1	10.5	12.7	12.9
性別	男性	453	67	235	38	59	54
		100.0	14.8	51.9	8.4	13.0	11.9
性別	女性	432	29	235	55	53	60
		100.0	6.7	54.4	12.7	12.3	13.9
年代	30代	225	30	123	12	38	22
		100.0	13.3	54.7	5.3	16.9	9.8
	40代	223	23	124	31	22	23
		100.0	10.3	55.6	13.9	9.9	10.3
年代	50代	224	20	117	22	27	38
		100.0	8.9	52.2	9.8	12.1	17.0
年代	60代以上	213	23	106	28	25	31
		100.0	10.8	49.8	13.1	11.7	14.6
割付	<男性> 30代	113	20	60	4	24	5
		100.0	17.7	53.1	3.5	21.2	4.4
	<男性> 40代	115	13	65	15	8	14
		100.0	11.3	56.5	13.0	7.0	12.2
	<男性> 50代	114	16	57	9	12	20
		100.0	14.0	50.0	7.9	10.5	17.5
	<男性> 60代以上	111	18	53	10	15	15
		100.0	16.2	47.7	9.0	13.5	13.5
割付	<女性> 30代	112	10	63	8	14	17
		100.0	8.9	56.3	7.1	12.5	15.2
割付	<女性> 40代	108	10	59	16	14	9
		100.0	9.3	54.6	14.8	13.0	8.3
割付	<女性> 50代	110	4	60	13	15	18
		100.0	3.6	54.5	11.8	13.6	16.4
割付	<女性> 60代以上	102	5	53	18	10	16
		100.0	4.9	52.0	17.6	9.8	15.7

【考察】

「話し合っていない」理由として、最も多いのが「まだ話し合う時期ではない」53.1%。以下「縁起ではないと思う」が12.7%、「話し合う必要がない」10.8%、「話をする人がいない」10.5%と続く。これは昨年と同じ傾向である。「話し合う時期ではない」という回答は、年代が上がるにつれ、減ってはいるものの大きな差異は認められない。男女別に見ると、「関心がない」は総じて男性のほうが多い。「その他」項目は数値としては高く、これらの設問以外のさまざまな要因があるものと推測できる。

▶ Q7.人生会議で話し合ったことは、その後、本人の気持ちや環境の変化によって、その内容を変更することができます。
人生会議は一度だけではなく、何度でも行なって考え直すことをご存知でしたか？



		n	はい	いいえ
全体		1000	240	760
		100.0	24.0	76.0
性別	男性	500	96	404
		100.0	19.2	80.8
性別	女性	500	144	356
		100.0	28.8	71.2
年代	30代	250	77	173
		100.0	30.8	69.2
	40代	250	69	181
		100.0	27.6	72.4
年代	50代	250	46	204
		100.0	18.4	81.6
年代	60代以上	250	48	202
		100.0	19.2	80.8
割付	<男性> 30代	125	29	96
		100.0	23.2	76.8
	<男性> 40代	125	28	97
		100.0	22.4	77.6
	<男性> 50代	125	20	105
		100.0	16.0	84.0
	<男性> 60代以上	125	19	106
		100.0	15.2	84.8
割付	<女性> 30代	125	48	77
		100.0	38.4	61.6
	<女性> 40代	125	41	84
		100.0	32.8	67.2
割付	<女性> 50代	125	26	99
		100.0	20.8	79.2
割付	<女性> 60代以上	125	29	96
		100.0	23.2	76.8

【考察】

昨年度、新たにつくった設問である。人生会議は何度でも行なって考え直すことを知っていたのは、全体の約4分の1である。残りの4分の3には知られていない。これは昨年度と同じ。人生会議への理解がまだまだ不十分であることを、あらためて認識する。

▶ Q8. 今後、人生会議についてのシンポジウムが近くで開催された場合、参加したいと思いますか。



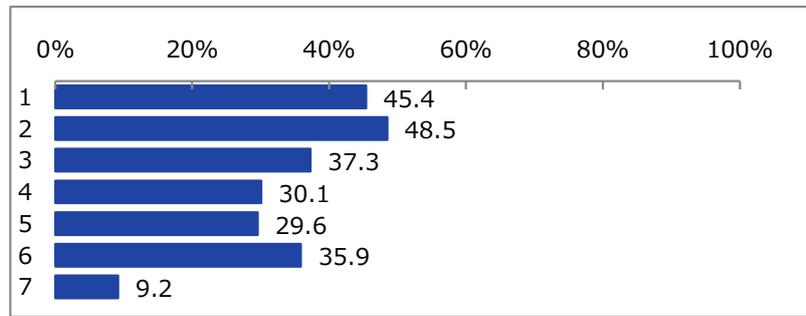
		n	思う	思わない	どちらとも言えない
全体		1000 100.0	118 11.8	358 35.8	524 52.4
性別	男性	500 100.0	62 12.4	199 39.8	239 47.8
	女性	500 100.0	56 11.2	159 31.8	285 57.0
年代	30代	250 100.0	24 9.6	107 42.8	119 47.6
	40代	250 100.0	30 12.0	86 34.4	134 53.6
	50代	250 100.0	34 13.6	73 29.2	143 57.2
	60代以上	250 100.0	30 12.0	92 36.8	128 51.2
割付	<男性> 30代	125 100.0	18 14.4	57 45.6	50 40.0
	<男性> 40代	125 100.0	17 13.6	46 36.8	62 49.6
	<男性> 50代	125 100.0	16 12.8	44 35.2	65 52.0
	<男性> 60代以上	125 100.0	11 8.8	52 41.6	62 49.6
	<女性> 30代	125 100.0	6 4.8	50 40.0	69 55.2
	<女性> 40代	125 100.0	13 10.4	40 32.0	72 57.6
	<女性> 50代	125 100.0	18 14.4	29 23.2	78 62.4
	<女性> 60代以上	125 100.0	19 15.2	40 32.0	66 52.8

【考察】

令和5年度6年度に続いて、3回目の設問である。シンポジウムへの参加意向は、「どちらとも言えない」が52.4%とほぼ半数である。これはシンポジウムの内容次第という思いがあるからであろう。男女別では、男性のほうが「思わない」という意思表示がやや強い。特に30代と60代の男性は、半数以上がシンポジウム参加に消極的である。「思う」との回答は30代女性がいちばん低く、全体としては11.8%にとどまった。

▶ Q9.もし、人生会議をするなら、またはすでにした場合、あなたにとって大切なテーマはなんですか。(いくつかも)

	%
全体	1000
家族の生活面の負担	45.4
経済面の負担	48.5
医療とケア面のサポート体制	37.3
自分の自由な時間の過ごし方	30.1
家族や友人との時間の過ごし方	29.6
延命治療についての対応	35.9
その他	9.2



		n	家族の生活面の負担	経済面の負担	医療とケア面のサポート体制	自分の自由な時間の過ごし方	家族や友人との時間の過ごし方	延命治療についての対応	その他
全体		1000	454	485	373	301	296	359	92
		100.0	45.4	48.5	37.3	30.1	29.6	35.9	9.2
性別	男性	500	225	250	157	137	123	134	49
		100.0	45.0	50.0	31.4	27.4	24.6	26.8	9.8
	女性	500	229	235	216	164	173	225	43
		100.0	45.8	47.0	43.2	32.8	34.6	45.0	8.6
年代	30代	250	135	132	93	74	79	91	23
		100.0	54.0	52.8	37.2	29.6	31.6	36.4	9.2
	40代	250	126	133	83	82	83	83	25
		100.0	50.4	53.2	33.2	32.8	33.2	33.2	10.0
	50代	250	105	122	96	76	67	97	27
		100.0	42.0	48.8	38.4	30.4	26.8	38.8	10.8
	60代以上	250	88	98	101	69	67	88	17
		100.0	35.2	39.2	40.4	27.6	26.8	35.2	6.8
割付	<男性> 30代	125	62	64	40	35	34	39	10
		100.0	49.6	51.2	32.0	28.0	27.2	31.2	8.0
	<男性> 40代	125	61	63	32	36	33	26	14
		100.0	48.8	50.4	25.6	28.8	26.4	20.8	11.2
	<男性> 50代	125	58	64	44	33	27	37	14
		100.0	46.4	51.2	35.2	26.4	21.6	29.6	11.2
	<男性> 60代以上	125	44	59	41	33	29	32	11
		100.0	35.2	47.2	32.8	26.4	23.2	25.6	8.8
	<女性> 30代	125	73	68	53	39	45	52	13
		100.0	58.4	54.4	42.4	31.2	36.0	41.6	10.4
	<女性> 40代	125	65	70	51	46	50	57	11
		100.0	52.0	56.0	40.8	36.8	40.0	45.6	8.8
	<女性> 50代	125	47	58	52	43	40	60	13
		100.0	37.6	46.4	41.6	34.4	32.0	48.0	10.4
	<女性> 60代以上	125	44	39	60	36	38	56	6
		100.0	35.2	31.2	48.0	28.8	30.4	44.8	4.8

【考察】

「家族の生活面の負担」と「経済面の負担」は、特にケアする側の30代40代にとって大きな課題であることがわかる。ケアされる側の60代以上にとっては男女ともに「サポート体制」が重要となってくる。「時間の過ごし方」については、総じて30代40代女性の関心が高い。また60代男性は家族や友人との時間よりも自分の時間をやや大切に思い、60代女性はその逆の傾向にある。「延命治療」については、男性よりも女性のほうが18.2%も高く、性差が顕著に表れた。

アンケート総括

【総括】

本調査は、長野県民1000人を対象にした、在宅医療・人生会議に関するアンケート調査である。調査媒体はインターネットであり、一定のITスキルを持った方が回答者である。設問内容はその都度微調整を行ってきているが、数年間にわたって共通で実施している設問項目がある。

ひとつは、「人生会議(アドバンスケアプランニング)」という言葉の認知度である。ここ数年、右肩上がりでの認知度がアップしている。それでもまだ全体の2割に届かないのが現状である。

もうひとつ重要な項目として、「人生会議」という言葉にとらわれず、「話し合い」をしているかという実践面での設問がある。これに関しては、残念ながら、減少傾向にある。人生会議を知ってはいても実践していない。あるいは言葉を知らずに実践している。ふたつのタイプが想定されるが、いずれにしろ、減少していることに注目したい。今後は、人生会議という言葉の普及させるとともに、実践面での啓蒙活動も重要なポイントである。

こうした継続的なアンケート集計の結果からわかるのは、広報広告活動が足りていないこと、および在宅医療の関係者たちによる実践の啓蒙が不十分であること。今後、人生会議や在宅医療について、幅広い世代の県民理解を得るためには、価値観の多様化も考慮しつつ、性別・世代別によるきめ細かなメディア戦略が必須である。また同時に現場レベルでのより具体的な人生会議の進め方について実践啓蒙する必要性を強く認識する。

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
人生会議という言葉を知っている	133	88	80	80	130	126	161
自分が望む医療・ケアについて誰かと話し合い(人生会議)をしている	174	181	161	148	126	113	115

人生会議の認知と実践

